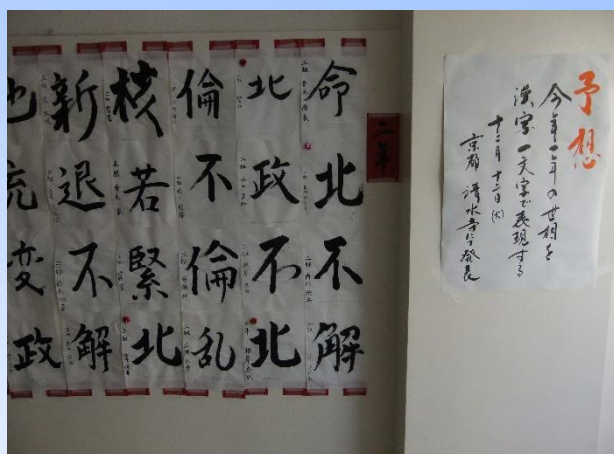


百合便り

校長だより12月号

(書道作品「今年の一文字予想」)



あっという間に年の瀬が近づいてきました。今年を振り返ると何が浮かぶでしょうか。

1月のトランプ大統領就任というニュースから始まり、「忬度」に沸いた国会報道や都知事選など政治話題に事欠かなかったような気がします。また、弾道ミサイルや座間事件など学校現場に影響したニュースもありました。フィギアスケートファンの一人としては、浅田選手の引退に「ご苦労さま」とつぶやき、羽生選手のけがの状況を心配している今日この頃です。

小林麻央さんの言葉に「生きていくこと」と「生きてきたこと」の尊さを改めて感じ、涙したこともありました。中でも「なりたい自分になる。人生をより色どり豊かなものにするために。だって、人生は一度きりだから。」の言葉は心に残っています。「生きていくこと」の中にある試練や苦しみと向きあった後に見える言葉なのだと、麻央さんの人生を感じ、その試練や苦しみが深いほどに言葉は力を持つのだと心を震わせた言葉でした。

私たちの日常にも、苦しみや思いがけない試練と向き合うことがあります。しかし、それにきちんと向き合った分、成長します。楽しい思い出は心を豊かにし、苦しい経験は心を深くしてくれると思います。そうして私たちの人生も彩られるのだと改めて感じました。

さて、百合丘の一大ニュースは「55分授業への変換」かもしれません。授業時間の確保と行事の見直し。朝の生活の変化については保護者の方のご理解と協力もお願いする形となりましたが、学校が何を与えるのか、生徒が何を受け取るか、これからそのマッチングが始まります。そして、それを受け取ってもらうよう伝えていくのが私たちの務めでもあります。

「黒板と机」は100年前から変わらないといわれていますが、はめ込む「ジグソーパズル教育」から「レゴブロック教育」への変換が始まっています。思考力と自由発想で育てるのがこれからの教育で、その力を持たずしてあいまいな未来を生き抜きことはできないといわれています。

百合丘の改革がその意図を伝え、そして未来の百合丘につなげることを平成30年の決意としたいと思います。

皆様もよいお年をお迎えください。